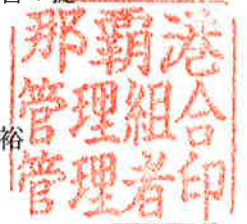


簡易公募型プロポーザル方式に係る手続開始の公告

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 234 条第 1 項の規定により、次のとおり企画提案書の提出を招請します。

令和 8 年 6 月 17 日

那覇港管理組合管理者 玉城 康裕



1 業務概要

- (1) 業務名 令和 8 年度那覇港の緑地等における官民連携推進支援業務
- (2) 履行場所 那覇港管理組合が管理する緑地等
- (3) 業務概要

那覇港において、港湾環境整備計画制度（以下、「みなと緑地 PPP」という。）を活用した港湾緑地を核とするみなとまちづくりの推進、周辺地域を含むみなとまちの更なる魅力向上、活性化及び港湾緑地の効果的な維持管理体制の構築を目指して、那覇港管理組合が管理する全ての緑地について、みなと緑地 PPP 等による民間活力活用の検討を行っている。

本業務は、那覇港管理組合における官民連携の取組を推進するため、既存の検討成果および関係計画等を踏まえた PPP 推進方針（案）の策定と官民対話を通じ事業者の参加意向や事業者がより参加しやすい公募条件の把握などを一体的に支援することを目的とする。

(4) 業務内容

業務内容は以下を予定している。なお、調査内容・頻度などについては変更する場合がある。

1 那覇港の緑地等における官民連携推進支援業務

- ① 計画準備
- ② 上位計画および制度動向の整理
- ③ これまでの取組、検討成果および課題・論点の整理
- ④ 関係者との協議・調整
- ⑤ PPP 推進方針（素案）の検討・整理
- ⑥ 官民対話の実施
- ⑦ PPP 推進方針（案）の作成および公募条件等の整理
- ⑧ 報告書作成
- ⑨ 打合せ・協議（4 回）

本業務において、企画提案を求める特定テーマは以下に示す事項とする。

- (イ) 那覇港の特性を踏まえた実効性のある「PPP 推進方針（案）」の策定に向けた課題とその対応策について
 - (ロ) 那覇港において市場ニーズを最大限に引き出す「官民対話」の実施手法について
- (5) 履行期間 契約締結日の翌日から令和 9 年 3 月 12 日まで
 - (6) 契約限度額 14,883,000 円（税込）以下で契約を行う。
 - (7) 本業務は、受注者を特定する場合において、一定の条件を満たす者を公募により選定し、当該業務に係る実施体制、実施方針、企画提案等に関する提案書（以下「企画提案書」という。）の提出を求め、企画提案書の内容が業務の履行に最も適した者を受注者とするプロポーザル方式の試行業務である。

2 参加資格

参加表明書又は、企画提案書を提出しようとする者は、次に掲げる資格等を満たしていること。

(1) 参加者に共通して求める要件

- ア 地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 4 の規定に該当していないこと。
- イ 会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）に基づく更生手続開始の申立てをした者にあつて

は更生計画の認可がされていない者又は民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）に基づく再生手続開始の申立てをした者にあつては再生計画の認可がなされていない者ではないこと。
ウ 参加表明書等の提出期限の最終日から特定日までの期間において、那覇港管理組合の入札参加資格（指名）停止がなされていないこと。

エ 参加しようとする者の間に以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。

(ア) 資本関係

以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし、子会社又は子会社の一方が会社更生又は再生手続が存続中の会社である場合は除く。

- a 親会社と子会社の関係にある場合
- b 親会社を同じくする子会社同士の関係にある場合

(イ) 人的関係

以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし、a については、会社の一方が更正会社又は再生手続が存続中の会社である場合は除く。

- a 一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている場合
- b 一方の会社の役員が、他方の会社の管財人を現に兼ねている場合

(ウ) その他入札の適正さが阻害されると認められる場合

その他上記(ア)又は(イ)と同視しうる資本関係又は人的関係があると認められる場合

オ 警察当局から、暴力団員が実質的に支配する建設業者又はこれに準じるものとして那覇港管理組合発注工事等からの排除要請があり、当該状況が継続している者でないこと。

カ 実施方針及び特定テーマが適正であること。

キ 当該業務の見積額が契約限度額であること。

ク 経営状況が著しく不健全であると認められないこと。

ケ 参加は単体に限らず共同企業体でも可とする。この場合の要件は以下のとおりとする。

- a. 共同企業体を代表する事業者が参加手続を行うこと。
- b. 自主結成方式とする。
- c. 当該業務に関し、2つ以上の共同企業体の構成員となることはできない。
- d. 代表者は構成員のうち最大の履行能力を有し、かつ最大の出資割合の者でなければならない。
- e. 構成員のうち最小の出資者の出資割合は、30%以上でなければならない。
- f. 共同企業体の協定書は、参加説明書と同時に配布する所定様式（共同企業体協定書）によるものであること。
- g. 共同企業体を構成する全ての事業者は、参加資格ア～ケの要件を満たす者であること。

コ 所定の基準を満たす業務管理担当者及び業務担当者を当該委託業務に配置できること。

(2)参加表明者（単体応募）の実績及び配置予定担当者（業務管理担当者）の要件

ア 企業に関する要件

(ア) 2(2)イとウに挙げる基準を満たす業務管理担当者を当該委託業務に配置できること。

(イ) 同種又は類似業務の実績

下記に示される同種業務又は類似業務について、平成 28 年度以降から公告日までに完了した業務（再委託による業務の実績は含まない。）において、企業単体もしくは共同企業体の代表構成員として、実施した業務 1 件以上の実績を有さなければならない。

- a. 同種業務：緑地や公園の官民連携導入可能性調査業務を受注し完了した実績
- b. 類似業務：上記以外の官民連携導入可能性調査業務を受注し完了した実績
（同種業務、類似業務とも日本国内における国・都道府県・政令指定都市、市町村等の地方公共団体の公共事業を実施する機関の実績で、契約金額が 500 万円以上の業務とする。）

イ 配置予定担当者（業務管理担当者）の業務実績

業務管理担当者は、平成 28 年度以降から公告日までに完了した業務（再委託による業務の実績は含まない。）において、以下に示す a もしくは b の業務実績を有すること。

- a. 同種業務：緑地や公園の官民連携導入可能性調査業務を受注し完了した実績
 - b. 類似業務：上記以外の官民連携導入可能性調査業務を受注し完了した実績
(同種業務、類似業務とも日本国内における国・都道府県・政令指定都市、市町村等の地方公共団体の公共事業を実施する機関の実績で、契約金額が 500 万円以上の業務とする。)
- なお、業務管理担当者が、評価対象期間に、産前休業、産後休業、育児休業、介護休業を取得していた場合は、その取得期間と同等の期間を評価対象期間の以前に加えることができる。

出産・育児等とは、次のとおり。

- ・産前産後休業（労働基準法（昭和 22 年法律第 49 号）第 65 条第 1 項又は第 2 項の規定による休業）。
- ・育児休業（育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律（平成 3 年法律第 76 号）第 2 条第 1 項に規定する休業）及び介護休業（同条第 2 号に規定する休業）をいう。

ウ 配置予定担当者（業務管理担当者）の手持ち業務量に関する要件

業務管理担当者は、全ての手持ち業務の契約金額が 5 億円未満かつ手持ち業務の件数が 10 件未満である者とする。ただし、契約金額が、1,000 万円を超える業務で、業務管理担当者が低入札調査基準価格以下で契約した業務を担当している場合は、手持ち業務の契約金額が 2 億円未満、又は手持ち業務の件数が 5 件未満。

※手持ち業務量とは、公告日の前日（特定後未契約のものも含む）において業務管理担当者及び業務担当者となっている 500 万円以上の他の業務をいう。

(3) 参加表明者(共同企業体応募 代表構成員)の実績及び配置予定担当者（業務管理担当者）等の要件

ア 企業に関する要件

(ア) 2(3)イに挙げる基準を満たす業務管理担当者を当該委託業務に配置できること。ただし、代表構成員は 2(3)ウに挙げる基準を満たす業務管理担当者を当該委託業務に配置できること。

(イ) 同種又は類似業務の実績

下記に示される同種業務又は類似業務について、平成 28 年度以降から公告日までに完了した業務（再委託による業務の実績は含まない。）において、企業単体もしくは共同企業体の代表構成員として、実施した業務 1 件以上の実績を有さなければならない。

- a. 同種業務：緑地や公園の官民連携導入可能性調査業務を受注し完了した実績
- b. 類似業務：上記以外の官民連携導入可能性調査業務を受注し完了した実績
(同種業務、類似業務とも日本国内における国・都道府県・政令指定都市、市町村等の地方公共団体の公共事業を実施する機関の実績で、契約金額が 500 万円以上の業務とする。)

イ 配置予定担当者（業務管理担当者）の業務実績

業務管理担当者は、平成 28 年度以降から公告日までに完了した業務（再委託による業務の実績は含まない。）において、以下に示す a もしくは b の業務実績を有すること。

- a. 同種業務：緑地や公園の官民連携導入可能性調査業務を受注し完了した実績
 - b. 類似業務：上記以外の官民連携導入可能性調査業務を受注し完了した実績
(同種業務、類似業務とも日本国内における国・都道府県・政令指定都市、市町村等の地方公共団体の公共事業を実施する機関の実績で、契約金額が 500 万円以上の業務とする。)
- なお、業務管理担当者が、評価対象期間に、産前休業、産後休業、育児休業、介護休業を取得していた場合は、その取得期間と同等の期間を評価対象期間の以前に加えることができる。

出産・育児等とは、次のとおり。

- ・産前産後休業（労働基準法（昭和 22 年法律第 49 号）第 65 条第 1 項又は第 2 項の規定による休業）。
- ・育児休業（育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律（平成 3 年法律第 76 号）第 2 条第 1 項に規定する休業）及び介護休業（同条第 2 号に規定する休業）をいう。

ウ 配置予定担当者（業務管理担当者）の手持ち業務量に関する要件

業務管理担当者は、全ての手持ち業務の契約金額が 5 億円未満かつ手持ち業務の件数が 10 件未満である者とする。ただし、契約金額が、1,000 万円を超える業務で、業務管理担当者が低入札調査基準価格以下で契約した業務を担当している場合は、手持ち業務の契約金額が 2 億円未満、又は手持ち業務の件数が 5 件未満。

※手持ち業務量とは、公告日の前日（特定後未契約のものも含む）において業務管理担当者及び業務担当者となっている 500 万円以上の他の業務をいう。

(4) 共同企業体の場合、代表構成員以外の構成員に関する要件

ア 沖縄県内に本店を置く者であること。

3 受注者の特定に関する事項

(1) 評価の方法

算出方法は、以下のとおりとする。

ア 評価値の算出方法

評価値＝企画評価点

イ 企画評価点の算出方法

企画提案書等の内容に応じ、下記(ア)、(イ)、(ウ)の評価項目毎に評価を行い、企画評価点を与える。

(ア) 予定担当者の経験

(イ) 実施方針等

(ウ) 特定テーマに対する企画提案

(2) 受注者の決定方法

受注者の決定は、(1)によって算出された評価値の最も高い者を受注候補者とする。

なお、評価値の最も高い者が 2 人以上あるときは、当該者にくじを引かせて受注候補者を選定する。

受注者は、受注候補者をプロポーザル方式で発注するコンサルタント業務における審査会等設置要領に基づく、審査会等の審議を経て決定する。その結果は企画提案書を提出したものの全員に通知する。

4 各種手続き等

(1) 参加説明書、企画提案仕様書の交付期間、交付方法等

ア 交付期間 令和 8 年 6 月 17 日（水）から

イ 交付方法 那覇港管理組合ホームページに公表する。

ウ 問い合わせ先 沖縄県那覇市通堂町 2-1

那覇港管理組合 企画建設部 計画建設課

電話番号 098-868-0336

(2) 参加表明書の提出等

参加を希望するものは、下記により参加表明書を提出するものとする。

ア 参加表明書の提出期間、提出場所及び方法等

(ア) 期間 令和 8 年 6 月 17 日（水）から令和 8 年 6 月 29 日（月）まで

午前 9 時から正午、午後 1 時から午後 5 時まで（土、日、祝祭日、慰霊の日(6/23)を除く)

(イ) 提出方法等 参加説明書による

(3) 企画提案書及び見積書の提出等

企画提案書及び見積書の提出方法は、次のとおりとする。

ア 企画提案書及び見積書の提出期間等

(ア) 期間 令和8年7月2日(木)から令和8年7月15日(水)まで

午前9時から正午、午後1時から午後5時まで(土、日、祝祭日、慰霊の日(6/23)を除く)

(イ) 提出方法等 参加説明書による

イ 企画提案書のヒアリング

(ア) 期間 令和8年7月17日(金)午後1時から午後4時まで(予定)

(イ) 方法等 参加説明書による

(4) 特定に関する事項

受託予定者として決定された者に対しては、特定通知書を送付する。

なお、一定水準を満たした提案がない場合、該当なしとする場合がある。

5 その他

(1) 上位計画及びこれまでの取組成果

上位計画及びこれまでの取組成果については、以下の URL を参照。

・那覇港長期構想(令和4年4月)、那覇港港湾計画(令和5年3月):那覇港管理組合 HP

https://nahaport.jp/sp/introduction/port_planning/

・みなとまちづくりマスタープラン(令和7年8月):那覇港管理組合 HP

<https://nahaport.jp/sp/introduction/1755149166/>

・令和6年度ステップアップ型みなと緑地 PPP 導入可能性調査業務 報告書:国土交通省 HP

<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/kanminrenkei/content/001762222.pdf>

(2) 契約保証金

契約を結ぼうとする者は、那覇港管理組合契約規則第4条及び契約書の定めるところにより、契約保証金は免除とする。

(3) 参加資格の喪失

本公告に示した参加資格のない者の評価又は参加表明書、企画提案書申請書及びその他提出資料に虚偽の記載をした者の評価は無効とするとともに、指名停止を行うことがある。

なお、指名停止措置を受け受注者の決定時において指名停止期間中である者の評価も無効とする。

(4) 参加表明書又は企画提案書の提出期限後において、原則として参加表明書及び企画提案書に記載された内容の変更を認めない。

(5) 配置予定担当者(業務管理担当者及び業務担当者)の確認

ア 参加表明書に記載した業務管理担当者及び業務担当者は、原則として変更できない。但し、病休、死亡、退職等のやむをえない理由により変更を行う場合には、同等以上の担当者であるとの発注者の了解を得なければならない。

イ 受注者の決定後、TECRIS等により配置予定である業務管理担当者の専任制(手持ち業務量)違反の事実が確認された場合、契約を結ばないことがある。

(6) 問い合わせ先一覧

ア 契約関係:〒900-0035 那覇市通堂町2-1

那覇港管理組合 企画建設部 計画建設課

電話番号 098-868-0336

イ 応募調書資料関係:アと同じ。

ウ 設計図書関係:アと同じ。

(7) 詳細は参加説明書による。